事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	健康づくりを目的としたスポーツ交流の推進		
	事業名	健康づくり推進事業	決算額	33,846円
②	視点	後世に残すべく貴重な資源の発掘と活用		
	事業名	地域資源PR事業	決算額	312,108円
③	視点	地域住民の安全確保のための防災意識の向上と避難行動の徹底		
	事業名	防災活動推進事業	決算額	19,456円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
(成果) ①日々、継続的に運動することを目的としてウォーキングを推奨した。歩いた歩数を記録表に記入し運動量を実感してもらい、継続的な運動習慣を身に付けることにつながった。また、期間中の到達歩数によりくじ引きを行うことで、やる気を増進させた。	◎
②「鑄銭司の風景」をテーマに、鑄銭司の四季折々の美しい風景や行事の写真に掲載した。カレンダーに地域行事を入れたことにより、地域住民に地域行事を知ってもらうことにつながり、自治会活動への理解と協力が得られやすくなった。	◎
③地域住民全員に共通する防災をテーマに、各地区の災害懸念箇所(土砂崩れ、浸水等)の災害想定を共有することができ、具体的な対応策を確認できたことで防災意識が高まった。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第3次地域づくり5カ年計画の3年目であったが、新型コロナの5類への移行により新年互礼会やふるさと祭りなど、地区民が交流する事業を再開することができた。また、令和4年度に続きウォーキングの推進を継続実施できたことは、健康づくり事業の進め方として今後にはずみがついた。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,686,520円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長1名・事務局員3名、計4名体制</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 事務局長1名、事務局員3名が協力して地域づくり業務にあたり、自治会委員各自のスマホを使ったICTの活用など、効率的な事務局運営を行うことができた。</p> <p>(今後に向けて) 自治会委員の高齢化により各部会事業の推進が難しくなっているが、自治会活動サポーターを募集するなど人のつながりを広げ、自治会活動の担い手確保や次期役員の育成につなげていく。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	96,771円
事業概要	<p>(実施内容) 自治会通信・自治会報の内容充実</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) ①805世帯・企業50社</p> <p>(成果) ①自治会通信5回発行・自治会報(総会報告書)1回発行。 ②ホームページへの自治会通信アップロード(5回) ホームページリニューアル</p> <p>(評価) 地域づくり活動の内容や情報を地区民に周知してもらうため、広報誌やホームページを活用し、広く理解と協力が得られた。広報紙づくりの勉強会にも参加した。</p> <p>(今後に向けて) 分かりやすく、楽しんで読んでもらえる広報紙作成のため、地域に密着した情報収集や情報発信をして行く。また、広報誌作成のための勉強会等にも積極的に参加していく。</p>

事業名	地域振興・交流事業
事業費	543,400円
事業概要	<p>(実施内容) ①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催</p> <p>(実施時期) ①4月、11月 ②1月</p> <p>(参加人数) ①500人 ②60人</p> <p>(成果)</p> <p>①地区民体育祭や鑄銭司ふるさとまつりに支援を行った。②新年互礼会を開催。</p> <p>(評価)</p> <p>①多くの参加者があり賑わった。</p> <p>②4年ぶりに企業・商工振興会、市関係者、地域の方々の参加者のもと開催された。参加された全ての企業・商工振興会にご挨拶をいただき、市長からのご挨拶と市幹部職からの事業説明、更に鑄銭司自治会の事業の取り組みの紹介を行い大いに盛り上がった。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>地域のイベント等に企業の参加を促し、地域住民との交流が深められるよう工夫する。</p>

(3)地域福祉

事業名	子ども教育・高齢者福祉関係事業
事業費	356,850円
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>①子育て環境の整備(子育て支援) ②子どもの自立支援(子育ての集い) ③クリスマスイルミネーションフェスティバル ④認知症サポーター養成講座参加 ⑤認知症声掛け(徘徊)模擬訓練参加 ⑥高齢者向けサービス店舗・事業所のご案内リーフレット発行</p> <p>(実施時期)①②5月 ③12月 ④9月 ⑤10月 ⑥2月</p> <p>(参加人数)③200人 ④42人 ⑤36人 ⑥400世帯</p> <p>(成果)</p> <p>①②子どもの自立支援をはじめ、子育て環境の整備、こども園・小中学校と地域との連携事業の支援を行った。 ③イルミネーションの設置をし、イルミネーションフェスティバルを行った。わくわく学級によるハンドベルの演奏があり、子ども達はビンゴゲームを楽しんだ。 ④⑤高齢者の安心安全が保たれるように見守活動の研修をおこなった。 ⑥買い物や病院通いが不便な高齢者等に役立ててもらおうA3表面印刷だったリーフレットを掲載事業所を増やしてA3表裏面印刷に改版した。</p> <p>(評価)</p> <p>③フェスティバルは多くの子ども達の参加があり盛況であった。イルミネーションの点灯期間は概ね1か月で、途中のトラブルはほぼ無かった。 ④⑤多くの方が講座や訓練に参加してくれたことで高齢者の安全安心につながる。 ⑥75歳以上の方がお住まいの世帯に配付したが、75歳以下の方からも欲しいという声上がり余分をお渡しした。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>①更に多くの子育て世代との交流の場作りと、こども園・小中学校と地域の連携を深める。 ②子ども達がイルミネーションの飾り付けやフェスティバルをより楽しめるよう工夫する。 ④⑤多くの方によるきめ細かい見守りが出来るよう参加を促す。 ⑥一人暮らしの高齢者等が少しでも暮らしやすくなるよう高齢者生活支援に取り組む。</p>

事業名	健康づくり事業
事業費	33,846円
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>フレイル予防に向けたウォーキング実施</p> <p>(実施時期)9月～2月末</p> <p>(参加人数)40人</p> <p>(成果)</p> <p>記録表に日々歩いた歩数を記入することにより運動量を実感でき、継続的な運動習慣を身に付けることにつながった。また、期間中の到達歩数によりくじ引きを行うことで、やる気を増進させた。</p> <p>(評価)</p> <p>ウォーキングによる運動機能の向上によりフレイル予防につながった。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>ウォーキングの裾野を広げていき、地域の健康寿命を延ばす取り組みを行う。</p>

(4)安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	206,685円
事業概要	(実施内容)防犯灯維持管理等 (実施時期)通年 (参加人数等)防犯灯81灯 (成果)LED防犯灯の維持とともに、地区防犯対策協議会と連携し、「青色防犯パトロール」を早朝41回、夜間57回実施したことで、地域内の犯罪抑止力強化につながった。 (評価)地域内の防犯灯は正常に機能を発揮し、地域住民の安心安全につながっている。 (今後に向けて)新入学児童が10人居ることから、防犯灯が新たに必要な所は無いか、また、不要になった防犯灯が無いかについて、地域からの情報収集に努める。

事業名	防災活動推進事業
事業費	19,456円
事業概要	(実施内容)防災訓練の実施 (実施時期)10月 (参加人数)127人 (成果)岡区の代表者101名と現地対策本部26名の合計127名が参加する形での避難訓練、その他の地区では情報伝達訓練を実施し、防災学習会として岡区で防災座談会を実施した。座談会では、過去に経験した災害の紹介や、危険個所の情報共有ができた。単位自治会長を中心に24名が参加して救命講習会を行った。 (評価)単位自治会が主体的に災害想定を行い、緊急連絡網の整備や、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、各地区の実情に応じた防災訓練ができた。 (今後に向けて)南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施する。

事業名	交通安全推進事業
事業費	12,000円
事業概要	(実施内容)秋の全国交通安全運動期間中に、これまで訪問していない地元企業へ交通安全マスコット等の配布をするとともに、交通安全への協力を呼び掛けた。 (実施時期)9月 (参加人数)3人、7企業 (成果)地域サークルの協力により製作した、交通安全マスコット、交通安全コースター150個を地元企業に持参し、交通事故防止に向けた要請活動を行った。 (評価)地元企業に対して、交通事故防止の協力要請を継続的にすることで、交通安全意識の高揚が図れたとともに、ドライバー側からの危険個所の情報が得られた。 (今後に向けて)鑄銭司第2団地ができることから、今まで以上に交通量の増加が予測されるため、より一層の交通安全活動に取り組む。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	4,054,000円
事業概要	(実施内容) 単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等に対応。 (実施時期) 通年 (成果) 交通安全柵1件、生活道路の舗装4件、農業用水路の改修3件実施。 (評価) 交通安全対策や生活道路の劣化及び老朽化した水路の修復が実施できた。 (今後に向けて) 地域内の要望を把握し、緊急性・必要性等を評価して随時対応する。

事業名	環境美化運動事業
事業費	625,273円
事業概要	(実施内容) ①地域一斉清掃活動の推進 ②芝桜の管理など花づくり活動の推進 (実施時期) ①11月 ②6月、7月、8月、9月、2月、3月 (参加人数) ①50人 ②11人、16人、6人、130人 (成果) ①通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施した。 ②長沢池の芝桜の草取り及び水やり、松島の枯れ枝や枯葉の回収、大平山のフジバカマ畑の草取り・水やり及び周辺の伐採、畑周辺へ柵の設置などの整備を実施した。 (評価) ①環境美化活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ②地域の子どもからお年寄までが参加し、更に地域内の11団体が協力して、芝桜の植栽や草取り水やりを行うなど、三世代交流が図れた。 (今後に向けて) 長沢池を訪れる人々の憩いの場になれるよう、また行ってみようと思ってもらえるように、美化活動・花のある地域づくり活動を継続する。

(6)地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	312,108円
事業概要	(実施内容) ①地域行事と資源を載せたカレンダー制作 ②写真講座開催 (実施時期) ①3月 ②6月、8月 (参加人数) ①750世帯・51社・14施設 ②20人 (成果) ①「鑄銭司の風景」と題し、四季折々の鑄銭司の風景や行事の写真と地域の行事を載せたカレンダーを発行した。 ②講師を迎え、講習会を2回開催。 (評価) ①地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすくなった。また地域の再発見に繋がった。 ②講座を受講してもらい、地域カレンダーに掲載した地域の写真を多く提供してもらった。 (今後に向けて) 地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に興味もってもらい参画する人の拡大につなげていく。

事業名	伝統文化の継承事業
事業費	134,925円
事業概要	<p>(実施内容) 伝統芸能伝承活動への支援 (実施時期) 9月、11月 (参加人数) 約150人</p> <p>(成果) 鑄銭司小学校運動会において小学生全員とボランティアの中学生が笠踊りを披露した。また、ふるさとまつりにおいても笠踊り伝統保存会を中心にわくわく学級の子も達や中学生などで踊りを披露した。伝承活動の継続と継承者の育成が図れた。</p> <p>(評価) 鑄銭司小学校の教員・生徒や保存会の方々と練習会を開催するなど、伝承活動を継続実施した。</p> <p>(今後に向けて) 運動会やまつりなどで笠踊りをPRする機会を増やし、新たに踊りの参加者を増やし、交流の場を通じて地域の貴重な伝統文化の継承を図る。</p>

事業名	ふるさと歴史勉強会事業
事業費	54,210円
事業概要	<p>(実施内容) ①文化財、史跡を分かりやすく巡る ②ふるさと歴史勉強会 (実施時期) ①通年 ②11月 (参加人数) ①6回(75人) ② 76 人</p> <p>(成果) ①鑄銭司の文化財や史跡を巡るツアーに参加してもらい、一緒に歩きながら文化財や史跡の説明を聞いてもらった。また、コイン造り体験等で地域の歴史についても学んでもらえた。②大村益次郎－維新の目的と未完の軍政改革－という演題で竹本知行氏の講演会を開催した。多数の受講者があり盛況だった。</p> <p>(評価) ①②講演会やツアーに参加してもらうことで地域内外の方々との交流が図れ、地域の歴史や文化財や史跡に興味を持ってもらい、知ってもらうことで地域の情報発信につながった。</p> <p>(今後に向けて) 今年度盛況であった専門家によるふるさとの歴史を学ぶ講演会や、文化財、史跡を巡るツアー等、魅力あるイベントを企画して、鑄銭司地域内外の方との交流を促進する。</p>

(7) 地域学習

事業名	周防鑄銭司遺跡発掘調査支援事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) 「周防鑄銭司遺跡」の冊子発行</p> <p>(成果) 遺跡の情報にいろいろ変更があった為、絵の準備が間に合わず、年度内に発行出来なかった。</p> <p>(今後に向けて) 地域の住民、小中学生にも周防鑄銭司遺跡を分かりやすく掲載した冊子を発行する。</p>